

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

平成 31 年 2 月 20 日 午前用

第 70 回 獣 医 師 国 家 試 験 実 地 試 験 問 題 (C)

注 意 事 項

1. 問題数は 60 問であり、解答時間は 2 時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを 1 つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1 問につき 2 つ以上マークした場合には、そのうちの 1 つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問61 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

61 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうち E 3 ☑を横線で、
61 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ず HB の鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……   

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特
に注意すること。

問1 猫、アメリカンショートヘア、雌、6か月齢。3か月前より下痢が続き、その後血便も見られるようになったとの主訴で来院。〔図1〕は糞便塗抹像（ライトギムザ染色、×1,000）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. クリプトスポリジウム症
2. ジアルジア症
3. コクシジウム症
4. トリコモナス症
5. トキソプラズマ症

別冊 C

図 1

問2 〔図2〕はある人獣共通感染症のヒトにおける予防接種推奨地域を表している。この人獣共通感染症はどれか。

1. 黄熱
2. デング熱
3. ウエストナイル熱
4. ペスト
5. ダニ媒介脳炎

別冊 C

図 2

問3 〔図3-A〕と〔図3-B〕はそれぞれ牛と豚のある感染症の国内発生頭数の推移を示している。〔図3-A〕と〔図3-B〕の組合せで正しいのはどれか。

- | A | B |
|-----------|---------|
| 1. 牛海綿状脳症 | 豚コレラ |
| 2. 牛肺疫 | オーエスキー病 |
| 3. 牛肺疫 | 伝染性胃腸炎 |
| 4. 牛白血病 | 伝染性胃腸炎 |
| 5. 牛白血病 | 豚コレラ |

別冊 C
図 3 - A, B

問4 犬、ダルメシアン、雄、7歳齢。1か月前から左前肢を跛行しているとの主訴で来院。〔図4-A〕は左前肢の単純X線側方像、〔図4-B〕は同腹背像、〔図4-C〕はX線検査で認めた病変部のコア生検スタンプ標本像（ライトギムザ染色、×1,000）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 骨髄炎
2. 汎骨炎
3. 肥大性骨異栄養症
4. 脂肪肉腫
5. 骨肉腫

別冊 C
図 4 - A, B, C

問5 馬、サラブレッド種、競走用馬、去勢雄、7歳齢。〔図5〕は安静時心電図（AB誘導、記録速度25 mm/秒、電位10 mm=1 mV）である。最も適切な診断はどれか。

1. 洞性不整脈
2. 心房細動
3. 房室ブロック
4. 期外収縮
5. 発作性頻脈

別冊 C

図 5

問6 〔図6-A〕は鶏のある器官の正常組織弱拡大像（HE染色）、〔図6-B〕はある疾患でみられたこの器官の病理組織像（HE染色）である。この疾患について正しいのはどれか。

- a この器官の濾胞内に壊死細胞を貪食したマクロファージが充満する。
- b 感染感受性は6～10週齢の時期が最も高い。
- c 5～7か月齢で腫瘍細胞の増殖により肝臓やこの器官が腫大する。
- d Bリンパ球が腫瘍化する。
- e 従来型に加えて強毒型が知られている。

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

別冊 C

図 6 - A, B

問7 猫、雑種、去勢雄、6か月齢。去勢手術をしてから2日後に体が膨れてきて呼吸が速くなったとの主訴で来院。〔図7-A〕は胸部X線側方像、〔図7-B〕は腹背像である。この画像所見から最も疑われる疾患・病態はどれか。

1. 横隔膜ヘルニア
2. 縦隔気腫および皮下気腫
3. 気胸
4. 肺炎
5. 胸水貯留

別冊 C
図7-A, B

問8 〔図8〕は豚のある監視伝染病の発生戸数の推移を示している。この感染症はどれか。

1. 豚コレラ
2. オーエスキー病
3. 豚流行性下痢
4. 豚丹毒
5. アフリカ豚コレラ

別冊 C
図8

問9 牛の糞便内虫卵検査を実施したところ〔図9〕に示す寄生虫卵が観察された。
この寄生虫は何か。

1. 牛捻転胃虫 (*Mecistocirrus digitatus*)
2. ベネデン条虫 (*Moniezia benedeni*)
3. *Paramphistomum ichikawai* (双口吸虫類)
4. コロンビア腸結節虫 (*Oesophagostomum columbianum*)
5. 牛鉤虫 (*Bunostomum phlebotomum*)

別冊 C

図 9

問10 犬、雑種、雄、2歳齢。先ほど車にはねられ、後肢が立たないとの主訴で来院。〔図10 - A, B〕は骨盤を中心とした単純X線像 (A:側方像、B:腹背像)である。X線像で骨折が確認できる部位はどれか。

- a 腰椎
- b 寛骨臼
- c 腸骨
- d 大腿骨
- e 尾椎

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

別冊 C

図 10 - A, B

問11 〔図 11〕の検査の説明として適切でないのはどれか。

1. ディスク拡散法と呼ぶ。
2. 最小発育阻止濃度を定めるために実施される。
3. 耐性菌は感受性菌と比べて阻止円が小さくなる。
4. 塗布する菌量は阻止円径に影響する。
5. 被検菌により培地が異なる。

別冊 C

図 11

問12 犬、雑種、避妊雌、9歳齢。元気、食欲に問題ないが、健康診断時に白血球数増加を認めた。〔図 12 - A〕は血液検査結果、〔図 12 - B, C〕は骨髓塗抹標本（ライトギムザ染色、B：× 400, C：× 1,000）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 急性リンパ芽球性白血病
2. 慢性リンパ性白血病
3. 真性赤血球増加症
4. 多発性骨髓腫
5. 本態性血小板血症

別冊 C

図 12 - A, B, C

問13 馬、ペルシュロン種、雌、5歳齢。持続性発情と攻撃性の高まりおよび不受胎を主訴に往診、直腸検査を実施したところ、腫大化した左卵巢を触知し、その際に疼痛は認められなかった。また、右卵巢は萎縮していた。左卵巢を外科的に摘出した後に発情が発現し、その後に受胎した。〔図13〕は摘出した左卵巢である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 卵胞嚢腫
2. 黄体嚢腫
3. 顆粒膜細胞腫
4. 卵巢炎
5. 嚢腫様黄体

別冊 C
図 13

問14 〔図14〕による食中毒に関する記述として適当なのはどれか。

1. セリと誤認されることによって発生する。
2. 有毒成分はアコニチンである。
3. 我が国における死亡例はない。
4. ソテツの実も同じ有毒成分をもつ。
5. 秋に多く発生する。

別冊 C
図 14

問15 犬、ボストン・テリア、雄、2歳齢。激しい搔痒を主訴に来院。元気、食欲に問題はないが、耳介に紅斑と丘疹がみられた。耳垢検査で〔図15〕に示す寄生虫を多数認めた。最も疑われる疾患に関する記述として適切なのはどれか。

- a 原因寄生虫は生活環の全てを外耳道内で過ごす。
- b 原因寄生虫は表皮内にトンネルを作って寄生する。
- c 予防に有効なワクチンが存在する。
- d 局所療法としてミコナゾールの塗布が行われる。
- e 全身療法としてセラメクチンの投与が有効である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 15

問16 〔図16〕はメスラットの発情前期膣垢像である。多数を占める細胞はどれか。

- 1. 角化上皮細胞
- 2. 有核上皮細胞
- 3. 白血球
- 4. 網状赤血球
- 5. マクロファージ

別冊 C
図 16

問17 馬、サラブレッド種、競走用馬、雄、3歳齢。競馬へ出走後、左後肢に跛行を認めた。〔図17〕は球節部 X 線背掌側像である。骨折部位はどれか。

1. 近位種子骨
2. 遠位種子骨
3. 第3中足骨
4. 第1趾骨
5. 第4中足骨

別冊 C
図 17

問18 〔図18〕は母集団から標本をランダムに抽出する方法を示している。この標本抽出法はどれか。

1. 系統無作為抽出法
2. 効果測定法
3. 単純無作為抽出法
4. 有意抽出法
5. 層化無作為抽出法

別冊 C
図 18

問19 犬、パグ、雄、2歳齢。腰部の皮膚腫瘍が認められ、外科的に摘出された。

〔図19 - A〕は腫瘍の病理組織像（HE染色）を弱拡大、〔図19 - B〕は強拡大したものである。この病変に関して正しい組合せはどれか。

- a ラッセル小体を持つ腫瘍細胞を認める。
- b リンパ球が浸潤して自然退縮する。
- c 表皮ランゲルハンス細胞に由来する腫瘍である。
- d 異染性顆粒を有する腫瘍細胞からなる。
- e 膠原線維の変性を伴うことがある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 19 - A, B

問20 犬、柴犬、避妊雌、11歳齢。半年ほど続く多飲多尿、元気消失、食欲不振を主訴に来院。〔図20 - A〕は血液化学検査結果、〔図20 - B〕は右頸部甲状腺領域の超音波検査像（横断面、カラードプラ像）である。最も疑われる疾患・病態はどれか。

- 1. 腎性続発性上皮小体機能亢進症
- 2. 副腎皮質機能低下症
- 3. 甲状腺機能亢進症
- 4. 原発性上皮小体機能亢進症
- 5. ビタミン D 中毒

別冊 C
図 20 - A, B

問21 〔図 21〕は呼吸器症状を示した牛の血液から分離された病原体の電子顕微鏡像である。本疾患で呼吸器症状以外に観察される症状はどれか。

- a 下痢
- b 水疱
- c 流産
- d 発熱
- e 関節痛

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 21

問22 〔図 22〕の器具（上段は先端の拡大図）のなかで、腸管手術の際に腸を保持するために用いられるのはどれか。

- 1. a
- 2. b
- 3. c
- 4. d
- 5. e

別冊 C
図 22

問23 喫食後1日を経て発症した食中毒患者の下痢便からSS寒天培地を用いて菌分離を行ったところ、〔図23〕に示すコロニーが得られた。疑われる食中毒および原因菌に関する記述として適切なのはどれか。

1. ミドリガメから小児への感染が問題となった。
2. リンパ節の腫脹が特徴である。
3. 溶血性尿毒症症候群を発症することがある。
4. 最少発症菌量は 10^5 個/人である。
5. 海産魚類が原因となることが多い。

別冊 C

図 23

問24 犬、ミニチュア・ダックスフンド、雌、13歳齢。肛門脇に腫瘤が触れるとの主訴で来院〔図24-A矢印〕。〔図24-B〕は血液検査結果、〔図24-C〕は腫瘤の細針吸引細胞診像（ライトギムザ染色、 $\times 1,000$ ）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 肛門周囲腺腫
2. 肛門周囲腺癌
3. 肛門囊腺癌
4. 悪性黒色腫
5. 悪性末梢神経鞘腫

別冊 C

図 24 - A, B, C

問25 馬、サラブレッド種、雄、2日齢。全身状態が悪化して死亡した。〔図25 - A〕は腎臓の断面肉眼像、〔図25 - B〕は弱拡大の病理組織像（HE染色）である。最も疑われる病態はどれか。

1. 貧血性梗塞
2. 菌血症
3. 急性尿細管壊死
4. シュウ酸塩腎症
5. 高カルシウム血症

別冊 C
図 25 - A, B

問26 牛、ホルスタイン種、雌、4歳齢。分娩後90日を経過し、2回の人工授精でも受胎しなかったため、直腸検査、膣検査および生殖器の超音波検査を実施したところ異常は認めなかった。〔図26〕は子宮内膜細胞診像（メイ・ギムザ染色）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 子宮蓄膿症
2. 子宮頸管炎
3. 潜在性子宮内膜炎
4. カタール性子宮内膜炎
5. 化膿性子宮内膜炎

別冊 C
図 26

問27 牛、黒毛和種、雌、6歳齢。食欲廃絶により廃用となった。〔図27〕は剖検時の腸管およびその周囲組織の横断像である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 出血性腸症候群
2. ヨーネ病
3. 牛白血病
4. 脂肪壊死症
5. 腸捻転

別冊 C
図 27

問28 犬、雑種、去勢雄、10歳齢。2か月前から湿性の咳があり、昨日咯血が見られたとの主訴で来院。〔図28 - A〕は胸部X線側方像、〔図28 - B〕は腹背像である。この画像所見から最も疑われる疾患・病態はどれか。

1. 犬糸状虫症
2. 僧帽弁閉鎖不全症
3. 拡張型心筋症
4. 動脈管開存症
5. 大動脈狭窄症

別冊 C
図 28 - A, B

問29 猫、雑種、去勢雄、13歳齢。半年前に生じた右耳介先端の傷が治らず、次第に広がってきたとの主訴で来院。〔図 29 - A〕は右耳介の外貌、〔図 29 - B〕は病変部の細胞診像（ギムザ染色、×400）である。治療として最も適切なのはどれか。

1. イベルメクチンの投与
2. 抗菌薬の長期投与
3. 免疫抑制剤の投与
4. 病巣の洗浄と搔把の繰り返し
5. 耳介切除

別冊 C
図 29 - A, B

問30 養鶏場で重度の呼吸器疾患が集団発生した。発咳、開口呼吸、血痰が観察され、呼吸困難で死亡する個体もみられた。〔図 30 - A〕は鶏卵接種において発育鶏卵漿尿膜に観察された変化を示し〔図 30 - B〕は対照である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 高病原性鳥インフルエンザ
2. ニューカッスル病
3. 伝染性喉頭気管炎
4. 伝染性気管支炎
5. 家きんのメタニューモウイルス感染症

別冊 C
図 30 - A, B

問31 〔図 31〕は「感染の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において三類感染症に分類されるある疾患の年間患者数推移である。この疾患に関する記述として適切なのはどれか。

1. ヒトからヒトへの感染は起こらない。
2. 40℃以上の高熱が出る。
3. 牛もヒトと同様の症状を呈する。
4. 重症化は幼児や高齢者に多い。
5. TCBS 寒天培地を用いて原因菌を分離する。

別冊 C

図 31

問32 〔図 32〕は犬のリンパ腫に対する CHOP 療法 (UW - 25) のプロトコールである。A、B に当てはまる薬剤として適切なのはどれか。

A

B

1. シトシンアラビノシド —— ヒドロキシウレア
2. ドキソルビシン —— ビンクリスチン
3. ビンクリスチン —— シスプラチン
4. ヒドロキシウレア —— シトシンアラビノシド
5. ビンクリスチン —— ドキソルビシン

別冊 C

図 32

問33 〔図 33〕は犬のどの骨か。

1. 尾椎
2. 腰椎
3. 胸椎
4. 第二頸椎（軸椎）
5. 第一頸椎（環椎）

別冊 C

図 33

問34 100 頭規模の酪農場において潜在性乳房炎の対策プログラムとして搾乳機の定期点検、前搾り、搾乳後の乳頭消毒、乾乳牛の定期的な乳房炎の治療を行った。〔図 34〕はこの対策を 1 年間実施した後の効果について経済評価を行った結果を示している。この経済評価の手法はどれか。

1. 決定樹分析法
2. 効果測定法
3. 数理計画法
4. 損失調査法
5. 部分査定法

別冊 C

図 34

問35 犬、チワワ、未避妊雌、10歳齢。陰部から腫瘤が飛び出しているとの主訴で来院。膣鏡検査で腫瘤は尿道開口部頭側から発生しており基部は細かった。〔図35-A〕は腫瘤の外貌、〔図35-B〕は腫瘤の病理組織像（HE染色、×100）である。本症の再発を防ぐ治療として最も適切なのはどれか。

1. 外陰部を含む腫瘤発生部の広範囲切除
2. 卵巣子宮摘出術
3. 非ステロイド系抗炎症薬の長期投与
4. 放射線治療
5. 抗癌剤の多剤併用療法

別冊 C
図 35 - A, B

問36 犬、秋田犬、去勢雄、3歳齢。突然左眼が見えなくなったようだと主訴で来院。〔図36〕は左眼の眼底像である。眼底所見として適当なのはどれか。

1. 視神経乳頭浮腫
2. 硝子体出血
3. 漿液性網膜剥離
4. タペタムの反射亢進
5. ノンタペタムの脱色素

別冊 C
図 36

問37 牛、ホルスタイン種、雌、5歳齢。〔図37 - A〕は長期不受胎のため廃用となった時の卵巣である。また、〔図37 - B〕は廃用直前の左卵巣の超音波検査画像である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 卵胞嚢腫
2. 黄体嚢腫
3. 卵巣萎縮
4. 嚢腫様黄体
5. 顆粒膜細胞腫

別冊 C
図 37 - A, B

問38 〔図38 - A〕は放牧中に全身状態が徐々に悪化したホルスタイン種成牛の膀胱切開像と〔図38 - B〕は膀胱病変の病理組織像（HE染色）である。病変の形成に関与が疑われるのはどれか。

- a アフラトキシン B₁
- b 牛痘ウイルス
- c プタキロサイド
- d 牛乳頭腫ウイルス
- e ビタミン B₁ 分解酵素

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 38 - A, B

問39 牛、ホルスタイン種、3歳齢、雌。突然の鼻出血と呼吸促迫を主訴に診察を受けた。〔図39 - A〕は鼻出血直後の鼻鏡周辺の写真、〔図39 - B〕は初診時の血液検査結果である。最も疑われる疾患はどれか。

1. ワラビ中毒
2. タイレリア症
3. 副鼻腔炎
4. 後大静脈血栓症
5. 創傷性心膜炎

別冊 C
図 39 - A, B

問40 豚、4か月齢。高熱、食欲の減退を呈してから2日目に〔図40〕に示す皮膚病変が観察された。この疾患についての説明として適切なのはどれか。

- a 原因菌は豚のみを宿主とする。
- b この疾患に対するワクチンはない。
- c マクロライド系抗菌剤が有効である。
- d 原因菌は外見上健康な扁桃にも存在する。
- e 関節炎を呈することがある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 40

問41 犬、柴犬、雌、3歳齢。2日前に階段から落ち、以後左後肢を挙上しているとの主訴で来院。X線検査を行ったところ、〔図41 - A,B (A:腹背像、B:側方像)〕に示す骨折が認められたため骨プレートを用いた整復固定を行うこととした。大腿部へのアプローチ方向と骨の固定面の組合せとして最も適当なのはどれか。

- | アプローチ | ————— | 固定面 |
|-------|-------|-----|
| 1. 外側 | ————— | 尾側 |
| 2. 外側 | ————— | 外側 |
| 3. 内側 | ————— | 内側 |
| 4. 内側 | ————— | 頭側 |
| 5. 頭側 | ————— | 頭側 |

別冊 C
図 41 - A, B

問42 BSEの母子感染に関するコホート研究によって〔図42〕に示す結果が得られた。母牛のBSE発症と子牛のBSE発症の関係を表す相対リスクはどれか。

1. $(42 \div 301) \div (13 \div 301) = 3.23$
2. $(42 \div 301) - (13 \div 301) = 0.10$
3. $(42 \times 288) \div (259 \times 13) = 3.59$
4. $\{(42 \div 301) \div (13 \div 301) - 1\} \div \{(42 \div 301) \div (13 \div 301)\} = 0.69$
5. $(13 \div 301) \div (42 \div 301) = 0.31$

別冊 C
図 42

問43 猫、アメリカンショートヘアー、雌、13歳齢。左前肢第4指爪周囲が腫れているとの主訴で来院。〔図43-A〕は左前肢のX線像、〔図43-B〕は病変部の細針吸引細胞診像（ライトギムザ染色、×400）である。最も疑われる疾患・病態はどれか。

1. 原発性肺腫瘍の爪床転移
2. 肥大型骨症
3. 悪性黒色腫
4. 扁平上皮癌
5. アポクリン腺癌

別冊 C
図 43 - A, B

問44 猫、雑種、雄、2歳齢。野外で咬傷を受けた後、元気消失、発熱、粘膜の蒼白、呼吸促迫、黄疸が認められた。血液塗抹における赤血球像を〔図44〕に示す。この症例に用いる抗菌剤として最も適切なものはどれか。

1. セフェム系
2. ホスホマイシン系
3. ペニシリン系
4. テトラサイクリン系
5. グリコペプチド系

別冊 C
図 44

問45 犬、ドーベルマン・ピンシャー、雄、9歳齢。頸部を硬直させ、四肢に力が入らずふらつきながら歩いているとの主訴で来院。頸髄の疾患が疑われたためMRI検査を行った。〔図45〕は頸部MRI像（T2強調画像）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 脊髄腫瘍
2. 椎骨腫瘍
3. 尾側頸部脊椎脊髄症（ウォブラー症候群）
4. 脊髄空洞症
5. 線維軟骨塞栓症

別冊 C

図 45

問46 〔図46 - A〕は放牧中に重度の呼吸困難に陥った牛群の一例の肺病変の断面肉眼像と〔図46 - B〕はその弱拡大の病理組織像（HE染色）である。本症例の原因として最も適切なものはどれか。

1. 牛肺虫 (*Dictyocaulus viviparus*)
2. 牛RSウイルス
3. *Mycoplasma bovis*
4. *Mycoplasma mycoides* subsp. *mycoides*
5. *Mycobacterium bovis*

別冊 C

図 46 - A, B

問47 下痢を主徴とするヒトの集団発生が起きた。水道水が感染源と疑われたため検査したところ、〔図 47 - A〕の病原体が検出された。強拡大すると〔図 47 - B〕のような内部構造が観察された。この病原体による疾患の記述として適当なのはどれか。

1. 重症例では肝膿瘍がみられる。
2. 最少感染量は 10^6 個／人である。
3. 宿主は糞便中に病原体のシストを排出する。
4. 病原体は水道水の水質基準項目に含まれる。
5. 汚染水の煮沸による予防は有効である。

別冊 C
図 47 - A, B

問48 牛、黒毛和種、雄、40 日齢。3 日前から下痢をしていたが、昨日から起立不能になったとの主訴で診察を行った。〔図 48 - A〕は介助起立時の写真、〔図 48 - B〕は初診時の血液検査結果である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 低カルシウム血症
2. グラステタニー
3. 溶血性貧血
4. 白筋症
5. ダウナー牛症候群

別冊 C
図 48 - A, B

問49 〔図 49 - A〕はアイソレーターシステムで飼育された無菌マウスの腹部を開腹した肉眼像である。〔図 49 - A〕中の矢印で示した臓器はどれか。なお〔図 49 - B〕のマウスはオープンシステムで飼育されたマウスの開腹した肉眼像である。

1. 空腸
2. 回腸
3. 盲腸
4. 直腸
5. 結腸

別冊 C
図 49 - A, B

問50 〔図 50〕は不妊を呈した豚の卵巢写真である。この不妊に関する記述として適切なものをどれか。

- a 陰核の肥大がみられることが多い。
- b 発情周期は不規則である。
- c 思牡狂症状を呈する。
- d ホルモン測定により診断される。
- e 治療には $\text{PGF}_{2\alpha}$ を投与する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 50

問51 牛、ホルスタイン種、雌、4歳齢。3か月前より右頬に腫瘤が形成され、次第に大きくなった。現在は採食不能で多量の流涎がみられる。〔図51〕は右側頭部の写真である。疑われる疾患はどれか。

1. イバラキ病
2. アクチノバチルス症
3. 放線菌症（アクチノマイコーシス）
4. 乳頭腫
5. 皮膚型牛白血病

別冊 C
図 51

問52 犬、雑種、未去勢雄、5歳齢。食欲と活動性の低下を主訴に来院。〔図52 - A〕は血液検査結果、〔図52 - B〕は血液塗抹像（ギムザ染色、×1,000）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. バベシア症
2. 急性失血
3. 免疫介在性溶血性貧血
4. 腎性貧血
5. 鉛中毒

別冊 C
図 52 - A, B

問53 コクシエラの分離培養に適した発育鶏卵の接種部位は〔図53〕のどこか。

1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ
5. オ

別冊 C

図 53

問54 犬、パピヨン、雄、10歳齢。約1週間前から元気消失、食欲不振および嘔吐を認めるとの主訴で来院。〔図54〕は肝臓領域の超音波検査像である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 胆石症
2. 胆嚢粘液嚢腫
3. 肝硬変
4. 肝膿瘍
5. 肝嚢胞

別冊 C

図 54

問55 日本住血吸虫の血清診断に利用される〔図 55〕の方法はどれか。

1. 色素試験
2. ラテックス凝集反応
3. 卵周囲沈降反応
4. ゲル内沈降反応
5. サールス現象

別冊 C

図 55

問56 犬、フレンチ・ブルドック、去勢雄、9歳齢。採食時に右側から餌がこぼれるとの主訴で来院した。〔図 56〕は来院時の顔貌である（フラッシュ撮影）。最も疑われる疾患に関する記述として適切なのはどれか。

- a 中耳炎は原因の一つである。
- b 涙液分泌の亢進がみられる。
- c 両側同時に症状が出現することはない。
- d フェニレフリン点眼試験は病変部の特定に有用である。
- e 数週間で症状が自然回復することがある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C

図 56

問57 〔図 57〕は 2007 年から 2016 年に国内での感染によって発生したある人獣共通感染症のヒトにおける推定感染原因をまとめたものである。この疾患はどれか。

1. 日本住血吸虫症
2. ジアルジア症
3. レジオネラ症
4. レプトスピラ症
5. Q 熱

別冊 C
図 57

問58 〔図 58〕の中で 2018 年現在「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」において特定外来生物に指定されているのはどれか。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 58

問59 犬、チャイニーズ・クレステッド・ドック、雌、13歳齢。腎不全により死亡した。〔図 59〕は新鮮腎臓組織にヨード反応を施したものである。この疾患に関する記述として適当なのはどれか。

- a ワーチン・スターリー染色により尿細管腔にらせん菌が検出される。
- b 尿細管間質性腎炎の組織像を示す。
- c 糸球体に免疫複合体の沈着がみられる。
- d 腎臓は腫大することが多い。
- e 尿細管上皮に硝子滴変性がみられる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C

図 59

問60 麻酔を導入し気管チューブを挿管後、麻酔モニターを開始したところ、バイタルサインに問題なく自発呼吸もあるが、カプノグラムで〔図 60〕に示す波形が認められた。現在の状況として最も可能性が高いのはどれか。

- 1. 気管チューブが麻酔回路から外れている。
- 2. 低換気である。
- 3. 呼気を再呼吸している。
- 4. 麻酔が浅い。
- 5. 食道へ誤挿管している。

別冊 C

図 60

